

ファイナンシャル・プランナー

FP × 中小企業
診断士

Wライセンスで 成功する方法

個人のコンサルティング資格である
とFP資格と、企業のコンサルティング
資格である中小企業診断士。
両資格を取得することで、活躍の場、
仕事の幅が大きく広がります。

2014

10/13 (月・祝)

予約不要
参加無料

12:30~14:00

会 場

TAC八重洲校

☎03(6228)8501(代)

中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル4F

TEL:03-6228-8501(代)

セミナー講師

櫻井 正人 氏

TAC 中小企業診断士講座講師



中小企業診断士の資格は、FPとしてのスキルアップや差別化につながります。企業経営者にとっての「資金・財産」とは、経営活動をおこなうための原資であり、経営活動をおこなって得た対価でもあります。経営者にとって「資金・財産」と「経営」は不可分の関係といえます。オーナー経営者であれば、個人の資金と法人の資金を包括的に捉えていることも少なくありません。それゆえに、経営者に対する提案をおこなうFPにとって、幅広い企業経営の知識を併せ持つことは大変有意義なことといえます。また、中小企業診断士の学習をする際に鍵となる「財務・会計」では、FP受験で養われた計数感覚が大変役立ちます。

飯塚 力士 氏

TAC FP講座講師



FPの資格は、生きていくうえでの必要な知識であり、資格としてはもちろん人生の中での金銭の知識です。FPの学習範囲の6分野である「ライフプランニングと資金計画」・「リスク管理」・「金融資産運用」・「タックスプランニング」・「不動産」・「相続・事業承継」は、中小企業診断士でも学習している項目が含まれています。法人は個人の集合体であり、法人経営で重要な経営の知識も、詳細をみていくと個人のことであったりします。個人の知識を身につけることで、法人・個人のトータルコンサルタントとして、業務の幅を広げませんか？